

第1次アオハル改革

第74代生徒会活動テーマ 第1次アオハル改革 ～青春を輔翼しよう～

輔翼(ほよく): 支え助けること

《公約》

1. 生徒の意見を取り入れながら、校則等の見直しの検討
2. 新型コロナウイルス対策をしっかりと行うことによる、安全な日常生活の構築
3. 文武両道を目指せる学校づくり
4. 地域社会との密接な交流

第74代生徒会 公約決まる



第4号
2021.10.18.(月)

制作
下村将太郎

発行
第74代生徒会

- 一、第七十四代生徒会 公約決まる
- 二、生徒会連絡板
- 三、青春の回顧録
- 四、生徒会からの挑戦状
- 五、教えて！大山先生
- 六、編集後記

私たち第七十四代生徒会の活動が始まってから、四か月がたちました。この間に、クラスマッチと体育祭の二つの行事が開催されました。皆さんのご協力のおかげで、どちらも素晴らしい行事になったと思います。

さて、本生徒会はあえて公約を決めず、「公約を募集すること、そしてそこから公約(＝活動方針)を決定することをお約束して、活動を開始しました。そこで先日、この約束を実現すべく「公約アンケート」を実施しました。多くの建設的な意見をくださり、本当にありがとうございました。そして、いただいた意見をもとに役員で検討を重ねた結果、次のような方針で活動していくことになりました。

- ・生徒の意見を取り入れながら、校則等の見直しの検討
- ・新型コロナウイルスの感染対策をしっかりと行うことによる、安全な日常生活の構築
- ・文武両道を目指せる学校づくり
- ・地域社会との密接な交流

多かった意見の一つが「男女平等」に関するものでした。まさに、現代ならではの意見だと思います。

そのほかにも、あたたかい応援のメッセージやご指摘など、様々な意見をいただきました。活動方針に決定したものの以外の意見も含めて、いただいたすべての意見を真摯に受け止め、「かつこいい生徒会」目指して役員一同頑張ります。

これからも、第七十四代生徒会の活動へのご協力よろしくお願ひします。
(満塩 浩史)

生徒会連絡板

ボランティア部

先週一週間は赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました。今週から来週にかけては、国境なき医師団への募金活動を行います。新型コロナウイルス感染症がまん延する中、世界中で闘う医療従事者を支援し、一人でも多くの命が救われる助けとなれるように、引き続き皆さんのご協力をよろしくお願ひします。

時を戻そう 青春の回顧録

第三回 濱田先生

先生方に、青春時代のお話を伺うこのコーナー。連載第三回目となる今回インタビューしたのは、地理・現代社会教師にして加治木高校が誇る「熱血体育会系教師」濱田雄志先生。そして今回のインタビュアーは下渡承太郎が、記事執筆は下渡承太郎と重留風斗が務めました。どうぞお楽しみください。



濱田雄志先生
2年5組現代社会
地理・野球部

下渡..それではまず、高校時代はどんな生徒だったのか教えて下さい。
濱田T..高校時代までは本気でプロ野球選手を目指していたので、部活動をものすごく頑張っていました。しかし、けがをしてしまったらプロ野球選手になれないから勉強も手を抜けないと思ったので、クラスの中では三位以内をキープして、部活と勉強の両立を、全力で、後悔のないようにやっていました。

下渡..ということは、将来の夢はプロ野球選手だったんですね。
濱田T..中学校の時点で、プロ野球選手か、公務員をしながら野球を教えたいと考えていました。そして、生徒会の体育部長もさせていたでいて、充実した学校生活を送っていました。ちなみに憧れの選手は上原浩史選手と、藤川球児選手でした。

下渡..すみませんが、ちょっと存じ上げないですね(笑)。では、そのような充実した学校生活での一番の思い出は何ですか。
濱田T..このご時世で言うのもかわいそうですが、やっぱり修学旅行ですかね。僕らは東京デイズニールランドとスキーに行ったのが一番の思い出です。

下渡..濱田先生は部活にも勉強にも全力投球だったとおっしゃっていましたが、それ

れはとても大変だったのでは。
濱田T..大変だとは思っていませんでした。が、当時は「今日も部活か」と思っていました。ですが、将来の夢もプロ野球選手だったので、後悔をしない生き方は難しいと思うけれど、後悔を少しでも減らす生き方はできるだろうと思って毎日過ごしていました。僕は寮生活をしていたので友達と愚痴を言い合ったり、たまには弱音を吐いたりして、厳しい中でもお互いに励ましあえる仲間がいたことが心の支えでした。

下渡..やっぱり仲間っていいですね。
濱田T..いやあ、本当に仲間は大切にしたほうがいいですよ。

下渡..勉強にしても部活にしても一人ではできないですね。最近本当に仲間って大切な、と思うようになって、仲間と高め合うことが大切だなと思います。

濱田T..おお、いいこと言いますねえ。
下渡..それでは、最後に加治木高校生にメッセージをお願いします。
濱田T..好奇心を忘れないでほしいですね。勉強に対しても友達に対しても「知りたい」という気持ちを忘れないでほしいです。これが、自分を成長させる一番のきっかけになると思います。

下渡..良いお話をありがとうございました。

生徒会からの挑戦状

前回の答え

ゴッホの生前唯一売れた絵画は、「赤い葡萄畑」。ゴッホが死去する5か月前、女流画家のアンナ・ボックによって400フラン(現在の日本円で約四十万円)で購入された。

問題

日本ではLINE、& Instagramの人気に押され、近年若年層の利用者が減少傾向にあるSNSツールFacebook。しかし世界規模では未だ十三億人以上が利用しているこのFacebookの、ロゴのテーマカラーが青色なのはなぜか。

教えて！大山先生！今月の名言！

謝辞、人類友誼從這裡開始

感謝すること、
人間の友情は

ここから始まりませす

大山海人

編集後記

今週木曜日から、二回目の実力調査が行われます。一年生は今回は二十一日のみで国数英の三教科、二年生は二十二日までの二日間です。皆さん勉強は順調でしょうか。中間調査の成績が返却されたばかりで、少し焦っている方もいらっしゃるかと思います。そんな慌ただしい調査直前の今日、生徒会新聞は第四号の発行となりました。過去の三号より少し発行が遅くなりました。ごま、申し訳ありません。

さて、今回の記事紹介です。まずはトップ記事。生徒会の活動開始から四か月、ついに公約と活動方針が決定しました。まずはどんなアクションを起こすのか、これからの生徒会にご期待ください。

そして、パン工房マテリア×生徒会コラボパン。これは当初、文化祭で販売される予定でした。その文化祭は実力調査後の十一月五日に、プログラムを大幅に省略して開催されます。演目が少なくなってしまうことはとても残念ですが、それでも、少しでも皆さんに楽しんでいただけるように準備を進めています。

最後に、まだまだ息苦しい毎日が続いています。いつも好奇心を忘れないで(笑)濱田先生、何気ない日常の風景に面白さを探してみてください。

今回も、ここまで読んで下さりありがとうございます。ではまた第五号で。
(下村将太郎)